

## 2 行政評価の取組状況

大阪府においては、社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、府政の透明性を確保するため、平成11年度から「行政評価システム」を実施しています。平成13年度からは、施策評価を実施し、建設事業評価、主要プロジェクト評価などとあわせ、総合的な行政評価を構築し、全庁的な取り組みをすすめています。平成14年度における評価結果の概要は次のとおりです。

### (1) 施策評価

#### ア. 評価対象

##### 施策数

平成14年度の施策評価の対象となった施策数は275施策

##### 事務事業数

これらの施策に含まれる事務事業数は再掲分を除くと1,843事業

#### イ. 評価結果

##### 事務事業の優先順位付け

平成13年度から15年度までの3ヵ年を見通して、それぞれの施策を構成する事務事業ごとに、社会的ニーズ(緊急性)や府の関与の必要性など施策目的に対する寄与度という観点から3段階(AAA、AA、A)で優先順位付けを行い、事務事業の今後の方向付け(「拡大」「継続」「見直し」「休止・廃止」)を行っています。

本年度は、これらの優先順位付けや事務事業の今後の方向性について再点検を行い次のとおり確定しました。

優先順位	基本的な方向	事業数	「今後の方向性」の状況
「AAA」	「拡大」又は「継続」する事務事業	350件	うち「拡大」 8件 「見直し」 205件 「休止・廃止」 202件
「AA」	「継続」又は「見直し」を行う事務事業	1,133件	
「A」	「見直し」又は「休止・廃止」する事務事業	360件	

事務事業の「見直し」「休止・廃止」による削減効果額 約151億円(一般財源 約43億円)

## (2) 建設事業評価

### ア. 評価対象

#### 事前評価

平成15年度に新たに着手予定の主な建設事業。

- ・ このうち、総事業費10億円以上の事業については、建設事業評価委員会による外部評価を実施。
- ・ 国庫補助事業については、国の平成15年度予算に応じて、今後実施箇所を確定。

#### 再評価

事業採択後、5年未着工または10年以上継続中の事業等（全て外部評価）。

### イ. 14年度評価結果（外部評価案件については既に公表済み）

事前評価	33件（うち外部評価11件（ ））	「事業実施」32件、「条件付事業実施」1件
再評価	8件（外部評価）	「事業継続」8件
事後評価（外部評価）		しくみの検討（ケーススタディ実施3件）
報告案件	3件（外部評価）	「中止」2件、「見直し案実施」1件

うち1件（河川事業）については、河川整備計画策定手続きを活用。

## (3) 主要プロジェクト評価

### ア. 評価対象

府が実施または関与する主要な面的開発プロジェクト及び鉄軌道整備 14事業

- ・ このうち、西大阪延伸線及び中之島新線については事前評価（建設段階）、南河内・健康ふれあいの郷については事中（再）評価を建設事業評価委員会により実施。

### イ. 評価結果

主要プロジェクトごとの具体的な対応方針を決定。（外部評価案件については既に公表済み）

（参考）14年度建設事業評価委員会（外部評価）による評価件数

事前評価 12件（建設事業 10件、主要プロジェクト 2件）

再評価 9件（建設事業 8件、主要プロジェクト1件）

報告案件 3件

#### (4) 公の施設評価

##### ア. 評価対象

対象施設数 28施設

(府が設置した宿泊・研修施設、貸館施設、スポーツ施設、図書館施設、博物館等)

##### イ. 評価結果

平成13年度に施設毎の成果・活動指標、運営にかかる収支や改善目標の実績などを分析するとともに、府民ニーズの変化、市町村・民間との役割分担、民間活力の導入、NPOなど府民との協働、費用対効果の視点から評価を行い、それぞれの施設のあり方や当面3ヵ年の施設毎の費用節減・利用拡大などの達成すべき数値目標を定めた「公の施設改革プログラム(案)」を策定。

「公の施設改革プログラム(案)」において、各施設ごとに定めた数値目標の実施状況を点検

15年度当初予算における削減効果額 (13年度当初予算比) 約5億円(一部重複)

##### ウ. 施設の見直し

各施設の評価結果を踏まえ、府立施設としての必要性や諸機能を精査し、抜本的に施設のあり方を見直し  
緑化センター廃止(13年度末)